

# 和楽荘 びより



社会福祉法人 **和楽会**

2022年2月(58号)

発行者

介護老人福祉施設  
和楽荘 / 広報委員会

広島市安佐南区伴西5丁目  
1432番地1

TEL 082-848-5000

FAX 082-848-4579

URL

<http://www.warakusou.or.jp>

Eメール

[info@warakusou.or.jp](mailto:info@warakusou.or.jp)

恵まれた自然環境の中で生きがいと潤いのある生活を!



## 新年互例会



今年も毎年恒例の「新年互例会」を行いました。

「浅葱・撫子ユニット」では、大きなすごろくを作りました。サイコロを振り、出た目の数を進んでいくのは同じですが、止まったマスにある、早口言葉・体操・クイズ・モノマネなどのお題をクリアしなければならないルールなので、次はどのマスに止まるのか・・・ハラハラドキドキしながら楽しみました。

5階では、お正月の食事に合わせ可愛らしいランチョンマットをご用意しました。東雲神社への初詣も済ませ、無事に新しい年を迎える事ができました。

また各階にてお正月恒例の「書き初め」をしました。皆さんお手本を見ながら真剣そのもの!! 出来上がった作品は書道展に応募させていただきました。

今年もご入居者がお元気で楽しく、そして安全に過ごしていただける和楽荘でありたいと思っています。令和4年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 衛生管理者選任

1月1日より、特養の中丸介護職員が、和楽会の新しい衛生管理者に選任されました。

選任後初めての衛生委員会で、少し緊張した様子でしたが、各部署の所属長と集い、職場の安全管理業務について、意見を交換していました。

これからも安全な職場づくりに務めてまいります。



## 特 養



### 3階撫子 雪だるま

ご入居者に、少しでも季節を感じていただこうと思い、雪だるまを作ってみました。目はボタン、手は木の枝で、口はクリスマスの飾り、頭にはゆずをのせて完成です！！

早速ご入居者に見ていただくと、「まあ、可愛いねえ」「冷たいわ〜」と、とても喜ばれました。

さわると冷たい雪だるまですが、心はほっこりした一日でした。

### 4階 ドリミネーション見学

12月15日、広島市内へドリミネーションを見に行きました。車窓から見える色鮮やかなイルミネーションや、クリスマス前の賑やかな街の様子に「綺麗じゃね〜」と喜んでくださり、職員も一緒に楽しませていただきました。



### 4階 年忘れ会

12月20日に年忘れ会を行いました。

みんなで歌を歌ったり、魚釣りゲームや黒ひげ危機一髪で盛り上がりました。

年忘れ会の後は職員の手作りクリスマスリースをプレゼントさせていただきました。お好きなリースを選んでいただき、とても喜んでくださいました。



### 5階 東雲 おやつレク



東雲では12月のレクリエーションで、黄色い車の移動販売パン屋さんに来ていただきました。寒い時期ですので地域交流室にかわいらしいパンや、おいそうな様々なパンを並べていただきました。

ご利用者もお出かけ気分の装いで買い物バックを持って「どれがいいかねえ」「これが美味しそう」と話も弾みます。

悩んだ末に購入したパンは、その日のおやつにいただきました。

久々のお買い物や焼き立てのパンに皆さん喜ばれ「また来てほしいね」と言われていました。



# デイサービス

# 「和楽(わら)うデイサービス」和む・楽しむ・笑う

## クリスマスの壁画



製作期間1ヶ月をかけて、皆さんと協力して作りました。  
ツリーは色を付けた綿、パステルクレヨンで色を塗ったり、色紙やお花紙、ダンボールなど様々な材料を使って作った作品です。  
クリスマスツリーも飾り、クリスマスの雰囲気を楽しみました。



## クリスマス会



毎年色々な工夫を凝らして来ましたが、今年はダンスや大道芸コント「ヒゲダンス」にも挑戦しました！！  
男性職員による「白鳥の湖」に皆さん大笑いしていただき、年の締めくくりを笑って過ごすことができました。



## 年忘れ会(神楽公演)

新型コロナウイルスが流行し始めてから、開催を中止しておりました年忘れ会の「下河内神楽団」による神楽公演ですが、今年は感染予防に配慮しながら開催させていただくことになりました。

演目は「八岐大蛇」神楽が好きなご利用者に大人気の演目です。神楽ファンの方はもちろんですが、初めて見られる方は、間近に迫る大蛇の迫力にビックリされながらも大喜び！！

下河内神楽団の皆様、迫力ある舞いをありがとうございました！



## 新年を祝う獅子舞



毎年無病息災を願い、お正月明けに獅子舞を舞います。

祭り囃子に合わせ、皆様の1年間の健康を祈念し、頭を噛ませていただきました。

今年一年、どうぞよろしく  
お願いいたします。



## 新茶会



新年恒例のデイサービスの「新茶会」を行いました。

「お作法がわからない…」と仰る方や、「昔は良くお茶を点てていたの」と仰る方など、色々な方がおられましたが、職員が心を込めて点てた少し苦いお抹茶と甘いお菓子を、ゆっくり楽しんでいただきました。

## 福笑い

目かくしをしたご利用者に顔のパーツを手渡し、顔を作って貰いました。

目かくしを外した後の出来栄えに、皆さん大笑いで盛り上がりました。



今年の節分もまた赤鬼&青鬼のコンビが和楽荘のデイサービスへとやって来ました。新型コロナに配慮して、大きな声は出しませんが、デイサービス内を暴れまわる鬼たちを、ご利用者がみんなで作っつけます！豆に見立てた新聞紙のボールを鬼めがけて

投げつけ、鬼たちはすごくすごと帰っていきました。これで悪いものは全て追い払われましたので、きっと幸福がやってくるはずです！！

## 節分の豆まき



やられた…

# 知っていますか？ 広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター もしものときのために「人生会議」

## アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

～自ら望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～



人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

誰でも、いつでも命に関わる大きなけがや病気をすることがあります。命の危機が迫った状態になると、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

自ら希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え⇒周囲の信頼する人たちと話し合い⇒共有することが重要です。

あなたが望む医療やケアについて、前もって考え⇒繰り返し話し合い⇒共有する取り組みのことを「**人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)**」と呼びます。

広島県地域保健対策協議会が作成された、「ACPの手引き～私の心づもり～」より、下記のステップ①～⑤の順番に進めていけば、自分自身の考え方がまとまりやすくなります。「ACPの手引き～私の心づもり～」は地域包括支援センターにも設置していますので、お気軽にお問い合わせください。



## もしバナゲーム

もしバナゲームは「縁起でもない」話を「ゲーム感覚」で気軽に話し合うことで、人生において大切な「価値観」や自分自身の「あり方」等について考えることが出来ます。



地域のサロン等で人生会議のお話や「もしバナゲーム」を行いました。「初めて自分の人生が振り返れた」「いい人生だったと思いたい」「家族と話したい」「心の整理がついた」等々の感想をいただきました。ご要望があればいつでもお声掛けください。

## 訪問介護事業部 ヘルパーさんの つれづれ日誌

普段はヘルパーがご自宅へ伺って、ご利用者のご希望を聞きながら調理をさせていただきますが、料理を作るのが大好きな方なので、ヘルパーと一緒にご自身ができる事(炒める・味付けをするなど)を行いながら、住み慣れたご自宅での生活を継続していく援助をさせていただいています。

私たちも使わせていただく包丁は、ご利用者が丁寧に研いでくださっているので、切れ味抜群です。おしゃべりしながらの調理時間は私たちにとっても大切な楽しい時間です。



ヘルパーはご利用者のお宅に伺って、その方に必要な支援をさせていただきます。仕事の様子など、ヘルパーについてご紹介いたします。



### 新人紹介

登録ヘルパーとして入りました、玉理 茉伊子です。結婚後離れていましたが、ずっとやりたかったヘルパーの仕事に復帰し、覚えることがたくさんの毎日ですが、楽しく働かせていただいています。笑顔を大切に、皆さんに安心して貰えるようにがんばりますので、よろしくお願いします。



### 本日のお品書き

きんぴら・肉じゃが  
きゅうりの酢の物  
ブロッコリーの炒め物



**募集中!**

登録型ヘルパー募集中です!一緒に働いてみませんか?お問い合わせはTEL848-5000(イトウ)まで

## 居宅介護センター

### 編集後記

立春を迎え、もうすぐ暖かい春がやって来ると思った矢先の雪で、ドキドキしながら通勤してくる職員たちを迎えました。職員の中には、初めて雪道の運転をした人もいて、「怖かったです…」と言っていました。今は不慣れで恐々運転していても、何年後には後輩たちに雪道の運転のコツを教えてくれる頼もしい先輩へと成長していくのです。何事も経験ですね。

春を待ちながら、和楽荘だより58号をお届けいたします。



### 介護現場でもスマートフォンを活用!

現在、スマートフォンの所有率は全世代で約89%、70代でも8割弱の方がお持ちだそうです。高齢者もスマホを普通に使う時代がくると言われており、和楽荘のケアマネジャーも業務用にスマホを使う事になりました。

例えばご利用者の歩行時の映像を専門家に送り、リハビリ方法や必要な福祉用具の助言を得る、多忙なご家族とメッセージアプリを介して連絡を取るなど、徐々に活用範囲が広がっています。

新型コロナの影響で対面でのコミュニケーションが制限される中、デジタル技術を活用し利用者家族の皆様のご生活や介護をサポートしていきたいと思っております。

### 「家族介護教室中止のお知らせ」

3月に予定しておりました「家族介護教室」ですが、県内の新型コロナ感染拡大による「まん延防止等重点措置」の延長(2月1日現在)に伴い、残念ながら中止とさせていただきます。開催を楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありませんが、次回開催の折には、楽しく笑える介護のお話を聞いていただきたいと思います。

**和楽荘 電話(代)082-848-5000 お気軽にご相談ください**  
**個人情報の取り扱いについて…個人情報保護法に基づき適正な取り扱いをしております**